

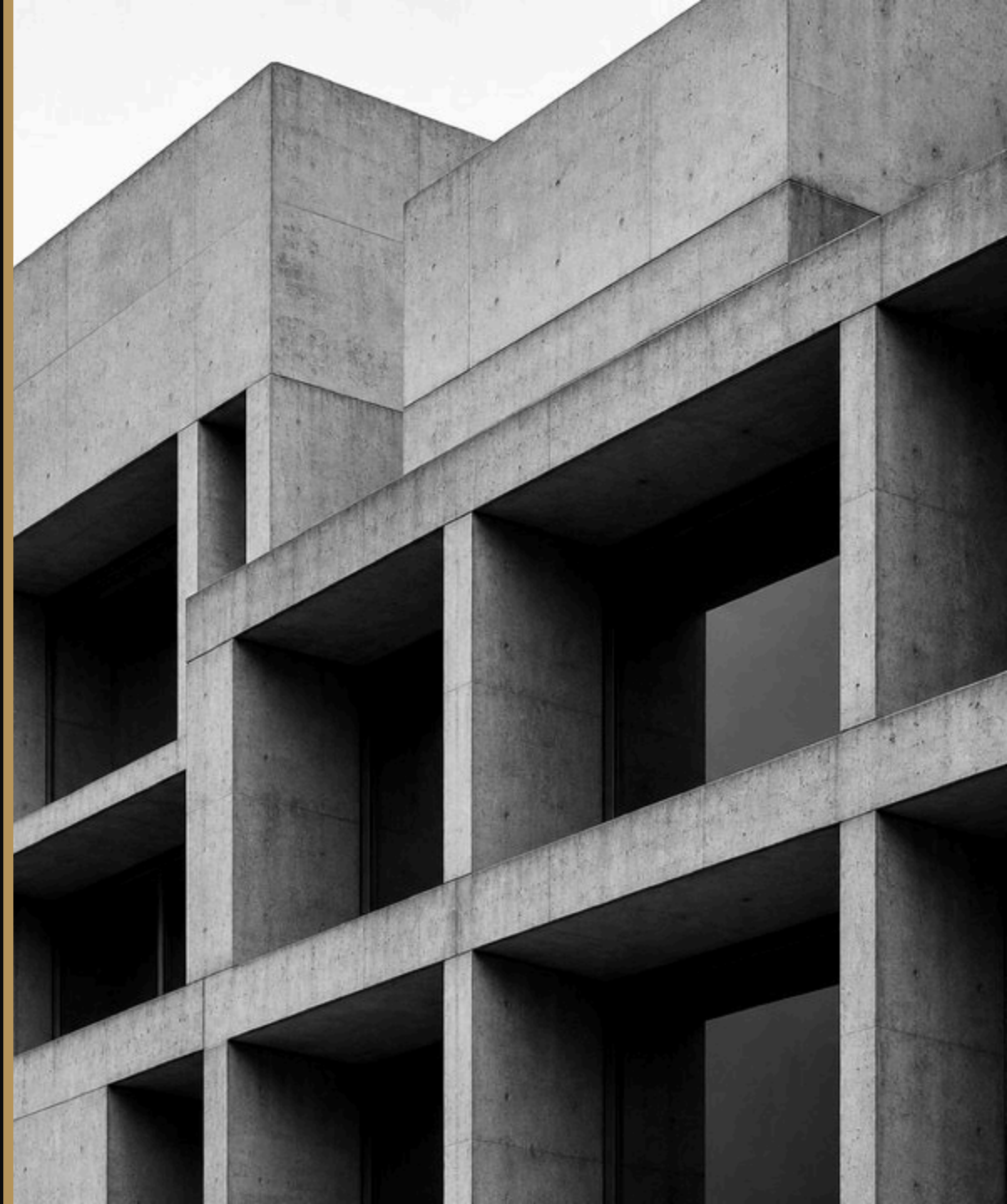


RECRUITING

SALT2 会社紹介

コンサルタント・ビジネス職の方へ

株式会社SALT2 2026年10月



この資料でお伝えすること

01	SALT2について	ビジョン、ミッション、代表メッセージ、Boostグループ、会社概要
02	3つの事業	Trooper、内製化支援、AIコンサルティング・開発
03	コミュニティ	SALT2が運営する LOCKED IN。5つの場、ブートキャンプ、参加者の声
04	チームと働き方	バリュー、メンバー、役割、環境と制度、求める人材

CHAPTER 01

SALT2について

01

VISION

人類史を
前進させる。

MISSION

AI時代に、社会への
インパクトを最大化する。

ADVANCE
HUMAN
HISTORY

OUR MISSION

AIの進化を、 一人ひとりの インパクトに変える。

AIは、これからも進化し続ける。それが社会を大きく変えていくことは、もう前提になった。

問われるのは、その力を使って、**自分が社会にどれだけのインパクトを与えられるか。**

SALT2は、一人ひとりが出せるインパクトを最大にする。その総和で、会社として社会へのインパクトを最大化する。

MAXIMIZE
IMPACT



MESSAGE

「社会を大きく変えられるかもしれない」 その興奮の、最前線へ。

AIが本格的にビジネスの現場に入り始めた今、この領域には、かつてないほどの興奮があります。技術の進化は速く、半年前の常識がすぐに塗り替わる。最前線で挑戦し続けながら事業のインパクトを追求できるこのタイミングは、本気で燃えたい人にとって、最高に刺激的です。

この数年は、人類史でも稀な変化の入口だと本気で思っています。経歴は問いません。最高の仲間と共に猛烈に走り、人生の勝負所に飛び込み、勝ち切りましょう。

代表取締役 **鬼澤 輔**

Boostグループの一員として、AIを担っています

グループで、経営課題の特定からAIを活用した解決策の設計、システム実装までをワンストップで支援します

グループでの役割

経営・投資

戦略・業務・システム開発

AI・データサイエンス・AI製品



ブーストキャピタル株式会社

- 2024年1月設立
- 1号ファンドは約170億円規模
- 100%買収も行うVCとして活動

子会社



ブーストコンサルティング株式会社

- 2025年4月設立
- AIを用いたコンサルティング・システム開発
- 大手戦略ファーム・SIer・IT大手の出身者

子会社



株式会社SALT2

- 2023年10月設立／2025年10月 子会社化
- AIエージェント開発・LLM開発・データサイエンス
- 松尾研究室出身者をはじめとするAIの専門家

会社概要

社名	株式会社SALT2
代表者	代表取締役社長 鬼澤 輔
設立	2023年10月
所在地	東京都港区麻布台1丁目8-10 麻布偕成ビル 3階
メンバー	31名（業務委託を含む）
株主	ブーストコンサルティング株式会社、鬼澤 輔
事業内容	AIエージェント製品「Trooper」の開発・提供／ AI内製化支援／AIコンサルティング・開発

HISTORY

- **2023.10**
株式会社SALT2を設立
東京大学 松尾・岩澤研究室出身の鬼澤が創業
- **2025.10**
Boostグループに参画
ブーストコンサルティングの子会社に
- **NOW**
3つの事業を展開
Trooper／内製化支援／AIコンサルティング・開発

CHAPTER 02

3つの事業

02

WHAT WE DO

AIをつくる力と、企業の仕事に届ける力。その両方を持つ。

AIに関わる会社は多くあります。SALT2は自ら製品と技術をつくり、企業の仕事の成果が出るところまで担います。

01 PRODUCT

Trooper

企業の仕事を、AIエージェントに任せる

共通の基盤の上で、仕事ごとのエージェントと業務アプリを育てる。

02 ENABLEMENT

内製化支援

企業が、自らAIで仕事を変えられるように

AIを使い、つくり、発注と評価を主導する力を、法人向けの研修とブートキャンプで育てる。

03 CONSULTING

AIコンサルティング・開発

課題の特定から、実装・定着まで

Boostと一緒に企業の課題に入り、AIを使われ続ける形にする。

3つの事業は、企業の課題を起点につながっています

どこに、どうAIを入れるかの見立てから始まり、社内の人が担う仕事と、エージェントに任せる仕事へつながります。



手段の選び方

Trooper に限りません。Claude、Claude Code、Copilot などを人が使う形のほうがインパクトが大きければ、それを選びます。

01 PRODUCT

Trooper

優秀な仲間に任せるように、
AIが背景を理解し、仕事を完了しておく。

PRODUCT

PRODUCT LINEUP

共通の基盤の上に、仕事ごとの製品を載せる。

ALL-PURPOSE

Trooper Workhub

どの仕事にも使う、人とエージェントが仕事を
進める入口

SALES

Trooper for Sales

予定やメールが動いたら、案件の
仕事を進めておく

RECRUITING

Trooper for Recruit

採用の手間を減らし、面接の質を
上げる

HR

Trooper for HR

日々の記録から、日報と工数をつくる

Trooper Core

共通のエージェント基盤

エージェントの実行

データ接続

権限と承認

自動実行

記録

オントロジー層

会社の仕事の対象・関係・状態を、根拠つきで持つ

企業のデータと業務システム

メール／カレンダー／チャット／ファイル／CRM／基幹システム

WHAT IT DOES 01

言われる前に、 仕事を進めておく。

予定やメール、共有フォルダの更新をきっかけに動き出し、調べ、作り、記録するところまで進めます。

受信箱 > 今日

Trooper が進めたこと

予定・メール・ファイルの動きをきっかけに、先に進めています

予定 明日 10:00「A社 定例」が入りました

準備メモと、資料の案を作りました

前回の議事録と、メール 12件を確認

見る

メール A社 佐藤様から返信が届きました

案件の記録を直し、返信の下書きを作りました

送信は、担当の確認を待っています

見る

ファイル 見積フォルダが更新されました

見積の台帳を直しました

改定版 v3 を反映

見る

画面の作りを再現したイメージです。データは架空です。

WHAT IT DOES 02

仕事の背景を、 もう知っている。

案件の経緯、関係者、過去の資料を、本人の権限の範囲でつなぎ、
根拠と一緒に持ちます。毎回、一から説明する必要がありません。

案件 › A社への提案 › 経緯

関係者 佐藤様(先方)・鈴木(担当)・高橋(課長)

9/12 初回の打ち合わせ。課題は、見積の精度

議事録

9/26 定例。見積の改定版を、次回に出すことで合意

議事録

10/1 佐藤様から、納期についての質問

メール

10/2 見積の改定版 v3 を保存

ファイル

次に決めること 見積の改定版を、10/3 の定例で出すか

9/26 の定例の合意と、10/1 のメールをもとにしています

画面の作りを再現したイメージです。データは架空です。

WHAT IT DOES 03

判断が要ることだけ、人に上げる。

人に届くのは、方向を決める前や、外へ出す直前のような節目だけです。外へ出すものは、人が確かめてから出します。

受信箱 ▶ 確認が要ること

確認が要ること 2件

ほかの 14 件は、確認なしで進めました

見積の改定版を、明日の定例で出しますか

A社への提案 / 方向を決める前

出す

出さない

A社 佐藤様への返信(下書き)を送りますか

A社への提案 / 外へ出す直前

承認する

差し戻す

画面の作りを再現したイメージです。データは架空です。

WHAT IT DOES 04

チームの一員として、 一緒に働く。

案件ごとの場で、全員が同じ記録を見ます。エージェントも
担当者を名指しして確かめ、チームの会話の中で仕事を進めます。

Project › 船積みフォロー › チームの会話

メンバー 5名 鈴木・佐藤・田中・高橋(課長)・伊藤

要対応

KW-2093

B/L ドラフトの返信期限・担当 鈴木

今日

AI

朝の整理です。要対応 2件。**@田中さん** NG-2101 の原産地証明を、発送前に確かめてください

田中

確かめました。**@佐藤さん** 通関書類も見てもらえますか

承認の依頼 KW-2093 の返信メール(下書き)を送る

依頼元 鈴木 / 承認する人 高橋(課長)

承認する

差し戻す

画面の作りを再現したイメージです。データは架空です。

02 ENABLEMENT

内製化支援

企業が、自らAIで
仕事を変えられるように。

ENABLEMENT

ワークショップ、FDEチーム、ブートキャンプの3つの形で支援します

体験から、現場での共同開発、選抜メンバーの集中育成まで、企業の状況に合わせて組み合わせます。

01 WORKSHOP

ワークショップ

半日～1日

自社の業務を題材に、手を動かして試します。動くモックや、簡単な自動化までを体験します。

02 FORWARD DEPLOYED

FDEチーム

現場に入り込むチーム

SALT2のチームが現場に入り込み、一緒に作りながら、作り方も伝えます。

03 BOOTCAMP

AIブートキャンプ

1～3か月・選抜した少人数

学習と制作を繰り返し、全員が実務で使えるものを作り切ります。対象と目的に合わせて、4つの型があります。

研修のあと 成果物の中から本番で使うものを選び、PoC・本番化へ進めるところも、SALT2が伴走します。

AIブートキャンプ:対象と目的に合わせて、4つの型で育てます

選抜した少人数が、1～3か月で学習と制作を繰り返し、全員が動く成果物を完成させます。

ENGINEER エンジニア

01



AI駆動開発ができる

要求から検証までを、AI前提の進め方で身につける。Claude Code・Codex を、既存の開発フローに組み込む

NON-ENGINEER 非エンジニア

02



コーディングエージェントで、自分たちでつくれる

Claude Code などを使い、身近な業務の自動化やアプリづくりに取り組む

03



要件定義とベンダーコントロールを、自分たちで進められる

モックまで自分でづくり、機能要件を固めて、発注と評価を進める

04



いま使っているAI基盤で、仕事を効率化できる

Copilot や Claude など、社内で認められたAIツールを、日々の仕事で使いこなす

進め方 2～4週間のスプリントを重ねます。実務者のメンターが週次で伴走し、毎スプリント、全員が動くものを提出して発表します。

大手メーカーA社：研修から、エージェントづくりと本番化へ

マネージャー層向けのAI研修が評価され、実務のAIエージェント研修と、成果物の本番化の2つに広がっています。



受講者の声 「デモを見るだけの研修ではなく、実際に手を動かして作れた」

顧客
東証プライム上場のBtoCメーカー

実施環境
同社のセキュリティ環境 (Amazon Bedrock上のClaude)

期間
2026年4月に開始。現在も続けている

03 CONSULTING

AIコンサルティング・開発

課題の特定から、
実装・定着まで。

CONSULTING

経営課題の特定から、実装・定着までを一気通貫で支援します

STEP 01**課題の特定**

ヒアリング・業務の棚卸し・定量分析で、
解くべき課題を定める

STEP 02**構想・検証**

試作とデータ検証で、実現できるか・
価値があるかを確かめる

STEP 03**開発・導入**

AI・エージェント・データ分析・
業務システムを、現場の仕事に組み込む

STEP 04**運用・定着**

効果を測り、品質と費用を改善しながら、
現場での利用を広げる

AIソリューション

4つの価値軸

構造化

帳票・文書・音声を読み、整理する

創出

提案書・資料・コードを生成する

意思決定

分析・要約で、判断を支援する

ワークフロー

問い合わせ対応・システム連携を自動化する

データサイエンス

4つの領域

データ基盤

分散したデータを統合し、可視化する

予測

需要・価格・電力などを予測する

最適化

人員・配送・生産・在庫の配分を最適化する

検知・予測

不正・故障・解約などのリスクを捉える

現場からも、全体から入り、使い続けられる形まで届けます

ビジネス、AI、システムの3つの力がそろっているので、どちらの進め方でも、本番まで進められます。

FROM THE FIELD

現場から

チームで現場に入り、目の前の課題を解く

FROM THE TOP

全体から

全社の課題から、打ち手と順番を決める

01 BUSINESS

ビジネス

ビジネスを担う人と、つくる人が一緒に入り、課題をつかんで要件を決める

全社の課題を棚卸しし、どこにAIを入れると、どれだけのインパクトがあるかを見立てる

02 BUILD

AIで高速につくる

AIを使って高速につくり、現場で試して直す

インパクトの大きい所から、実装する

03 SYSTEM

使い続けられるシステムにする

現場で使い続けられる形に仕上げる

本番のシステムとして構築し、運用につなぐ

できる理由 ビジネス、AI・データサイエンス、システム開発のすべてを、Boostグループと合わせて一つのチームで持っています。

大手企業を中心に、AI・データ活用を幅広く支援してきました

Boostグループとしての主な支援テーマです（守秘義務のため社名は非公開）

01

複数業界



非構造化データの構造化

PDF・Excel・Wordなどを構造化し、検索・分析の基盤を構築

02

複数業界



問い合わせ対応

社内のナレッジを活用し、FAQ・マニュアルに自動で応答

03

総合商社 子会社



営業・提案支援

過去のデータから、クロスセルの機会を予測

04

小売・消費財



店舗運営の最適化

自然言語の入力から、シフトを自動で作成

05

小売・消費財



需給予測

特徴量の補完で、予測の精度を向上

06

製造業



設備保全

画像解析とLLMで、故障のリスクを予測

07

総合商社



コンサルティング業務の自動化

アンケート分析からレポート作成までを自動化

08

ファンド



M&Aの初期検討

企業概要書の分析とシナジー案の作成を自動化

主な支援先

大手消費財メーカー

大手電機メーカー

大手鉄道会社

大手総合商社

大手学習塾

CHAPTER 03

コミュニティ

03

COMMUNITY

LOCKED IN

SALT2が運営する、 会社を越えたコミュニティ

何か

LOCKED IN は、人類史を前進させたいというビジョンを持つ人が集まり、会社を越えて、一生の仲間になる場所です。

位置づけ

SALT2は、AIの会社であると同時に、優秀な人が集まる場になることを目指しています。優秀で野心的な人が集まり、学び、仲間をつくり、仕事をする場所の中心で、AI事業をつくる会社でありたいと考えています。

運営

株式会社SALT2が運営しています。代表の鬼澤 輔が立ち上げました。

活動

Podcast、隔週と月例のイベント、ブートキャンプなど、頻度の違う5つの場があります。

頻度の違う5つの場で、何度も会える関係をつくっています

Podcast、隔週と月例のイベント、ブートキャンプを行っています。半年に1回の大きなイベントも準備しています。

場と頻度	内容	参加	1年の中の回数
PODCAST いつでも聴ける	挑戦している人に、何に人生を賭けているのかを聞く番組	誰でも聴ける	
BIWEEKLY EVENT 隔週	運動して、そのあと飲み食いしながら話す	紹介制	
MONTHLY EVENT 月1〜2か月に1回	勉強会、キャリア相談会、ハッカソン。テーマを決めて学び、作る	誰でも参加できる	
BOOTCAMP 2か月に1回ほど	AI駆動開発とAIコンサルティングを、短期集中で学ぶ	誰でも応募できる	
BIG EVENT 半年に1回	さまざまな企業や団体と開く、大きなイベント	COMING SOON	

イベントで出会う

▶

紹介で、隔週のイベントへ

▶

一生の仲間になる

ACTIVITY 04

SALT2 BOOTCAMP

経験は、問わない。
短期集中で、AIネイティブ人材へ。

どなたでも応募できる、実案件ベースの短期集中プログラムです。AI駆動開発とAIコンサルティングの実践力を身につけます。SALT2で活躍するメンバーへの入口にもなっています。

約 **800** 名

累計の応募

2026年の夏と秋の2回の合計(概数)。夏の回は、応募605名・参加154名。

200 名超

累計の参加

開催	2か月に1回ほど。2026年秋の回は、10月1日に開始
プログラム	AI駆動開発 Bootcamp／AIコンサルティング Bootcamp
対象	学生・社会人。開発の経験は問わない
期間と時間	2か月程度。週20～25時間が目安

経営者から学生まで、幅広い人が参加しています

AI駆動開発ブートキャンプの参加者へのインタビューから、4名を紹介します。

PROFESSIONALS 社会人



堀新一郎

ブーストコンサルティング 代表取締役
(前職: Z Venture Capital)

25年ぶりの開発で、
改めて「設計が9割」だと気づいた

出所: AI駆動開発ブートキャンプの募集ページ(events.salt-2.com)の「参加者の声」。肩書きは、掲載時点。



中村佳貴

ブーストコンサルティング シニアコンサルタント
(前職: Corporate Directions, Inc.)

開発を経験して、業務改善の提案に
実装の解像度が加わった

STUDENTS 学生



アーサン新

横浜市立大学 医学部 医学科 4年

エンジニア経験に、AI前提の
フルスタック開発をかけ合わせる



長谷川直也

東京大学 理科一類 2年

自己流のAI開発から、
実務を意識した開発へ

CHAPTER 04

チームと働き方

人生の勝負所に、本気で向き合う。

LIFE-DEFINING WORK

VALUES

Missionを実現するために、一人ひとりが毎日自分に問う基準。

毎日の問い

01 徹底してやり切れ。

これ以上できることはない、言い切れるのか。

当たり前のことを徹底して実行し、やれることを全てやり切って目標を達成する。

02 上司の仕事を喰え。

100%を積み重ねて、上司の仕事を先回りしてこなせているか。

言われたことを100%でやり続けて信頼を積んだ上で、一つ上の仕事をこなし、自身の役割をストレッチさせる。

03 覚悟を持って任せろ。

覚悟を持って、他の人に自分の仕事を任せられているか。

つまり、箇所を先回りしてサポートし、何かあれば巻き取る覚悟で、組織の成長を促す。

04 成長に貪欲になれ。

先週の自分から、アップデートされているか。

同じ状態に留まらず、誰よりも濃く学び、新しいことをやって、自分の役割・能力を伸ばし続ける。

05 キャップをかけるな。

思考にキャップをかけていないか。

考えることに、やることに、自分の力にも、上限を置かず、自己認知の外へ出ていき、非連続な成長を生む。

MEMBERS

メンバーは、全体で**31名**です(業務委託を含む)。そのうち6名を紹介します。



CEO / SENIOR AI ENGINEER

鬼澤 輔

代表として、Trooper Core の開発と、プロダクトの方向づけを担う。

東京大学 松尾・岩澤研究室で、LLM・Embedding model・RAGを研究。2023年10月にSALT2を創業。



CONSULTING

榊間 一純

企業へのAIの導入を、ユースケースの策定から導入まで、顧客の最前線で進める。

東京大学 農学部出身。アクセンチュアの戦略部門を経て参画。



FORWARD DEPLOYED ENGINEER

岩倉 一暉

FDEとして企業に入り込み、AIを業務に実装する。

VCの客員起業家、3Dアバター領域での起業を経て参画。



TROOPER CORE / PROJECT MANAGER

三浦 理久

Trooper のコアの開発と、顧客の案件のマネージャーを担う。

インペリアル・カレッジ・ロンドン 物理学部出身。量子コンピューターの基礎研究に携わる。



FORWARD DEPLOYED ENGINEER

中森 健人

FDEとして顧客に深く入り込み、Trooperの基盤を使った Trooper for Sales などのプロダクト開発を担う。

早稲田大学 創造理工学部出身。経営工学のデータ分析を経て参画。



ENABLEMENT

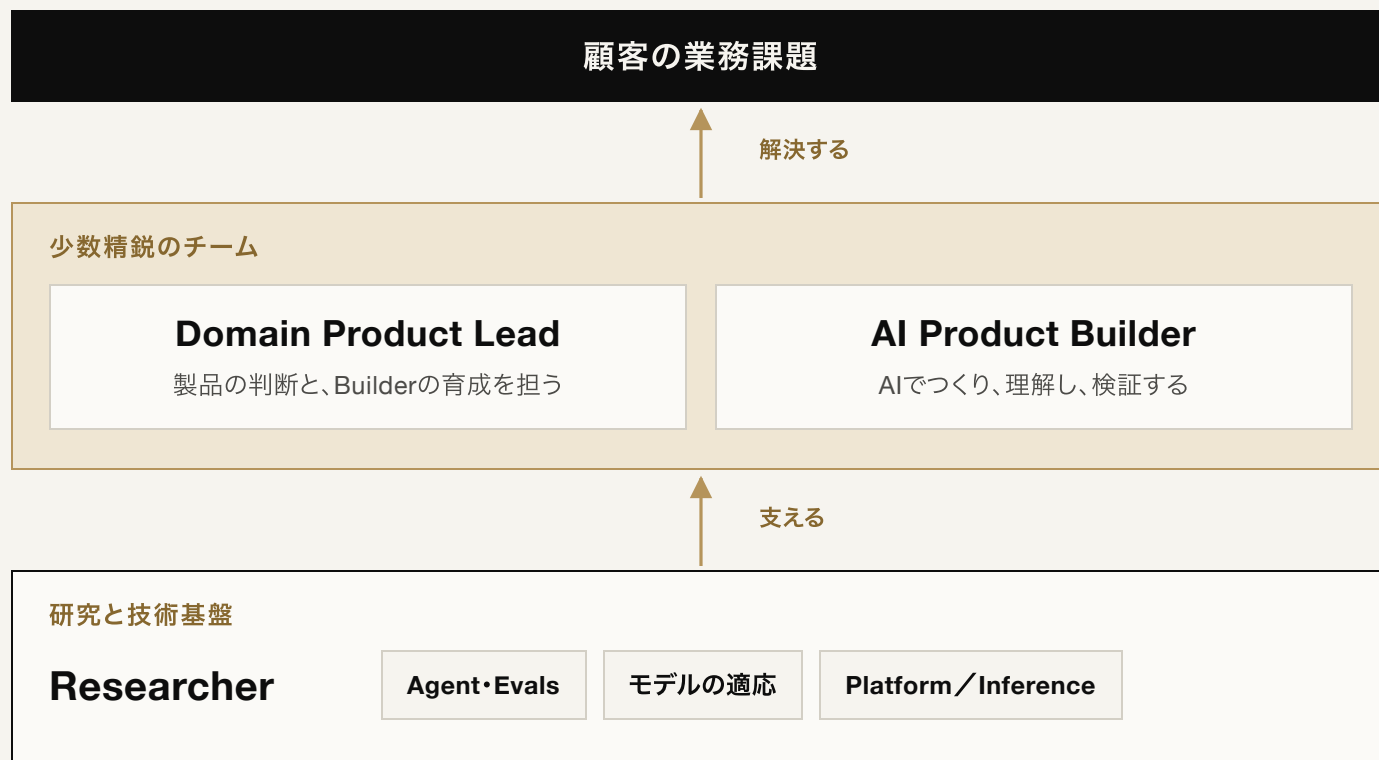
笠井 奏良

内製化支援事業と、ブートキャンプを担う。

東京大学 工学部出身。

少数精鋭のチームを、研究と技術基盤が支えます

製品の判断を担う人と、AIで実装する人が、顧客の業務課題を解決します。Researcherが、研究と技術基盤を担います。



ROLE 01

Domain Product Lead

現場の知識を、製品の価値へ。製品の価値と優先順位を決め、Builderの育成とチームの運営を担う。

ROLE 02

AI Product Builder

学ぶ力を、AIでつくる力へ。AIで実装し、理解・検証し、使える成果へ仕上げる。

ROLE 03

Researcher

研究を、Agentの性能と製品の改善へ。Agentの評価、モデルの適応、実行と推論の基盤を担う。

毎月の評価の見直しと、仕事を任せることで、成長を支えます

評価、学びの場、働き方についてご紹介します。

GROWTH

評価と成長

毎月の評価の見直し

毎月見直し、昇給・昇格に早く反映します。

メンターとの1on1

メンターとの1on1で、成長を支えます。

仕事を任せる

任された仕事をやり切った人に、一つ上の仕事を任せていきます。

TOGETHER

学び合う場

週次全体会 毎週

対面（オンライン参加も可）で行い、事業の進み具合を共有して、熱量と方向をそろえます。

社内勉強会・輪読会 定期

AI・LLMの論文の輪読や、プロジェクトで得た開発の知見を共有します。

交流会 隔週

ブーストコンサルティングのメンバーも参加し、戦略コンサルタントや起業経験者と語り合います。

WORKSTYLE

働き方

対面

原則、対面で働きます。リモートでの稼働もできますが、フルリモートでの参加は受け付けていません。

勤務地

東京都港区麻布台（神谷町駅 徒歩7分）

時間

フルフレックス制で、土日の稼働もできます。
インターンは週30時間以上（実務経験のあるエンジニアは週20時間以上）。

半年あまりで、任される役割がここまで広がっています

2026年の3月にインターンから、4月にブートキャンプから始めた、2人の例を紹介します。



三浦 理久

インターンから、
案件のマネージャーへ

7 か月

2026年3月～10月

01 3月

キャリア相談会と1dayの
ジョブ体験会を経て、
インターンに

02

営業と、
社内プロジェクトでの
エンジニアリングの
経験を積む

03

8～9月、案件に
ジュニアとして参加

04

9月に入社。
サブマネージャーとして
案件に入り、マネージャーの
役割も担う

05 10月 NOW

案件の継続を獲得。
マネージャーとして
メンバー3人ほどを率い、
Trooper のコアの
開発にも携わる



笠井 奏良

ブートキャンプの参加者から、
事業の担い手へ

6 か月

2026年4月～10月

01 4月

開発は未経験で、
ブートキャンプの0期に参加

02

ブートキャンプのメンターに

03

運営のメンターに。
役割をやり切り、
運営の改善も進める

04

公開の募集になった
ブートキャンプを運営。
約600名が応募

05 10月 NOW

内製化支援の事業で、
案件を獲得。
事業開発と
デリバリーを担う

WHO WE ARE LOOKING FOR

求める人材

次のような方と、一緒に働きたいと考えています。

01 成長に貪欲な人

学び続け、自分の役割と能力を広げていきたい方。

02 任された仕事を、100%やり切る人

やり切って信頼を積み、一つ上の仕事を任されていきたい方。

03 AIで、自分のインパクトを最大にしたい人

AIを使い、自分が社会に出せるインパクトを最大にしていきたい方。

応募は、採用ページ (salt-2.com/careers) から受け付けています。



SALT2

ADVANCE HUMAN HISTORY

人類史を前進させる。

株式会社SALT2

東京都港区麻布台1丁目8-10 麻布偕成ビル 3階

salt-2.com